# 「ときわコンピテンシー」に基づく履修指導方法のプロトタイプ構築


| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2018-10-31<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 松元, 英理子, 高松, 邦彦, 坊垣, 美也子, 桐村, 豪文, 中田, 康夫<br>メールアドレス:<br>所属: |
| --- | --- |
| URL | https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/1014 |

4-P-8

# 「ときわコンピテンシー」に基づく履修指導方法のプロトタイプ構築

松元英理子[1)]
高松邦彦[2)]　坊垣美也子[1)]　桐村豪文[2)3)]　中田康夫[4)]

神戸常盤大学・短期大学部の教育目標に掲げられる「ときわコンピテンシー（以下コンピテンシー）」に基づく履修指導方法の構築を行った。

2017 年度前期・後期の履修登録期間中に、医療検査学科 1 年の学生 20 名を対象にチューター教員による面談を行った。まず、各学生のコンピテンシー自己評価レーダーチャート（自記式）を作成した。一方、シラバスに記載された「評価方法と評価項目（コンピテンシーに対応）との関係」のデータから、「各学生の登録科目全体で獲得できるコンピテンシーのレーダーチャート（Web 式）」「基盤教育分野 39 科目の関連性を 2 次元上に可視化した図」を算出した。これらの資料を活用し、学生が苦手な部分を伸ばすのか、得意な部分を伸ばすのか、そのためにどの科目を履修すれば良いのか等について履修指導を行った。履修登録変更の有無は学生の判断にゆだねた。アンケートにより、履修指導が直接履修登録変更に結び付くことは多くはなかったが、学生に対しコンピテンシーを意識した学修への動機づけができたことが明らかになった。

また本研究を通して、①全ての学び（基盤教育分野、専門基礎・専門分野、準正課、正課外）の目標となるように、また学生が理解しやすいように、コンピテンシーの内容・数・表現等を全学的に再検討する。②上記①をもとに基盤教育分野カリキュラムの再考や、準正課・正課外活動等の位置づけ等を行うことが必要と考えられた。

1）保健科学部医療検査学科　2）教育学部こども教育学科　3）弘前大学教育学部
4）保健科学部看護学科